

平成29年3月14日

保護者 様

尼崎市立竹谷小学校

校長 荒木 伸子

学力向上について、今年度の取り組みと来年度に向けて

早いもので今年度もあと少しで終わりとなります。一年間、児童の学力向上に向けて、様々な取り組みを行ってきました。その取り組みを見直し、次年度に活かしていきます。来年度も本校教育にご理解とご協力をお願いいたします。

- 1 毎年4月、全国の6年生を対象に全国学力・学習状況調査を行っています。結果におきましては、本校の全ての学力・生活実態を表すものではありませんが、この結果を踏まえ学力向上等に取り組んできました。

(1) 平成28年度全国学力調査結果 正答率 (%)

	国語 A (知識)	国語 B (活用)	算数 A (知識)	算数 B (活用)
本校	67	50	75	47
尼崎市	70	55	77	45
兵庫県	73	58	78	47
全国	73	58	78	47

(2) 児童質問紙による学習状況調査

本校の児童の実態 (意識)

- ・「学校で好きな授業がある」「学校で友だちに会うのは楽しい」に「はい」と答えた児童が9割を超えている。
- ・「みんなで協力してやり遂げてうれしい」という成功体験がある児童が8割いる。
- ・困っている人を助けることやいじめはいけないことだという規範意識は備わっている。
- ・「自分によいところがある」では4割の児童が「いいえ」と答え、自尊感情の面で課題を感じる。そのためか、「自分から失敗を恐れず挑戦すること」の項目は、4割の児童が消極的である。

学習面

- ・7割の児童が原稿用紙2～3枚に感想文や説明文を書くことに難しさを感じていない。尼崎・全国平均より上回る。
- ・解答を文章で書き表すことに抵抗が少なく、取り組もうとする姿勢がある。
- ・国語や算数は将来役に立つという考えがある。
- ・自分の考えを発表したり、人の意見を最後まで聞いたりすることに苦手意識がある。
- ・「新聞を読む」児童は尼崎・全国を下回るが、テレビやインターネットを通してニュースを見る児童が尼崎・全国平均を上回る。
- ・学校の宿題はほぼ全員が取り組む。しかし、予習や復習には取り組めていない。そのためテスト前でも学習する児童は少ない。

2 今年度の取り組み

学力の向上を図るための取り組み

(1) 読書活動

読書タイム（8：25～8：35）は、1年生には、火・木曜日、地域ボランティアによる読み聞かせをしていただきました。図書の間は、担任と読書力向上担当が連携して読み聞かせ、おすすめの本、調べ物学習等の充実を図りました。また、家庭と連携して、うち読書を2週間に一度15分親子読書を実施しました。継続して行っているため、児童の読書への意識は高まってきています。

(2) 計算タイムの実施（13：40～13：50）

目標を持って取り組むために、計算検定9回・修了検定1回行いました。学びの掲示板を活用することで検定の結果を楽しみにしている児童が増えてきました。

(3) 学力補充の日、放課後学習

- ・学力補充の日には、個別指導も行い、検定の再テストも実施しました。
- ・放課後学習は保護者の了解を得て3，4，5年（算数中心）で取り組み、学習内容と家庭学習の定着を図ることができよかったです。

(4) 学習規律

竹谷小通信（7月号）でお知らせいたしましたが、「授業の基本竹谷5か条」、「ふでばこの中」を統一することで、どの学年も落ち着いて学習に取り組むことができるようになりました。

授業力向上を図るための取り組み

本校では、すべての教員が参加して国語の研究授業と事後研修会を6回行いました。講師は、尼崎市の元マイスターで1年から6年の系統性をわかりやすく、また見通しを持った指導ができるよう助言をいただきました。日々の授業では、自分の考えを書き、考えを深めることができるような交流をめざし、授業改善アドバイザー、アクティブラーニング推進支援の元校長から指導を仰ぎました。そして、算数を中心に中学年では同室複数指導、高学年では同室複数指導や小人数指導など学習形態を工夫してわかりやすい授業づくりに取り組みました。



3 来年度に向けて

本校の児童の実態として作文や文章構成に課題があるため、金曜日の8：25～8：35を作文タイム（仮称）として、全校一斉に言葉にふれる時間にしたいと考えています。

家庭学習では、学習を振り返り、考えや学習内容をまとめるチャレンジノートが習慣化していくよう学校と家庭がともに声かけをしながら進めたいと思います。

最後に、今年度、自尊感情を育てる取り組みとして学校全体で「自分のよいところみつけ」を行いましたが、クラス・学年・学校全体で認め合い、高め合い、「心輝く竹谷っ子」につながる指導を来年度も引き続き実施いたします。今後とも、よろしくお願いいたします。